あなたと議会

市内の高校生による「議会だより」の題字書写リレー
今号は鹿沼南高等学校３年 宇賀神 杏さんが揮ごうしました。

高校生揮毫継

市政の
そこが聞きたい！
15名の議員が登壇
市政一般質問

令和７年度
決算審査
令和７年度の当初予算
一般会計約434億円
特別会計との総額で
約630億円の予算は、
どう使われた!?
予算決算常任委員会で
徹底審査!!

市長提出議案
２６件の
議案審査

夏休み小学生
議会見学・体験会開催



表紙写真：タイトル「道しるべ」
撮影者：鹿沼東高等学校３年　小川千尋さん
撮影場所：鹿沼東高等学校

No.242
2026年
11月25日
発　行

特集！

小学生 議会見学・体験会

市議会では、市議会に対する関心や理解を深め、市議会を身近に感じてもらうために、「小学生 議会見学・体験会」を8月5日（水）に開催しました！

参加者の皆様には、普段なかなか見ることができない議場などを見学していただいたほか、市議会の仕組みなどについて、議員からの説明を受けていただきました。

また、議長席や議員席に座るなど、たくさんの体験をしていただきました。



出退表示システムの案内



傍聴席の案内



市議会議員による議会の説明



議会の実演



議員との記念写真の撮影（第１部）



議員との記念写真の撮影（第２部）

市政のそこが聞きたい!!

一般質問

市政一般質問は、議員が市の施策の状況や方針などについて、質問を行うほか、報告や説明を求めるものです。また、一般質問と合わせ、市長提出議案に対する議案質疑を行うこともできます。9月定例会では、15人の議員が一般質問や議案質疑を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

■一般質問の「二次元コード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画(YouTube)を視聴できます。



ガッツ石松さんについて

横尾 武男 議員

(YouTube)



答弁 これまでのご活躍を伝える、企画展示の実施に向けて準備を進めていきます。

問 市民栄誉賞受賞者である故「ガッツ石松」さんの功績を称え、記念館設置等の考えはあるか伺う。

答 市長

ガッツ石松氏、本名鈴木有二氏は、昭和24年6月5日に上都賀郡清洲村に生まれました。昭和40年3月に粟野町立清洲中学校を卒業するとともに上京し、翌41年3月、ヨネクラジムに入門、同年11月、プロボクサーとしてデビューしました。昭和53年3月にプロボクサーを引退してからは、日本を代表する個性派俳優として、ハリウッド映画に出演する一方、バラエティ番組にも多数出演し、「OK牧場」のフレーズでお茶の間の人気者にもなりました。さらに、自ら映画監督も務めるなど、まさに本市が誇るマルチタレントです。

本市においては、平成3年に旧粟野町第1号となる粟野町栄誉賞を授賞され、18年からは、かぬまふるさと大使として、本市のPRに、長くお力添えをいただきました。また、平成20年5月には、本市への多大なる貢献により鹿沼市民栄誉賞を授賞されています。生前のガッツ石松氏のご活躍は、粟野地域をはじめ鹿沼市全体にたくさんの活気や勇気を与えていただきました。その功績を現在、そして未来へと伝えることは、市民の誇りや愛着を育て、シビックプライドの醸成に寄与するものです。記念館等の設置については、ご遺族のご意向を尊重しながら、前向きに検討していきたいと考えています。また、本庁1階の多目的スペース等を活用し、これまでのご活躍を伝える、企画展示の実施に向けて準備を進めていきます。

◆その他の質問事項 ○城山公園　○横根地区　○旧粟野高校の敷地　○旧粟野庁舎

地域の未来 人づくり事業について

舘野 裕昭 議員

(YouTube)



答弁 本事業の推進により、協働・共創のまちづくりをより一層推進していきます。

問 「地域の未来 人づくり事業」(地域のチカラ協働事業の後継事業)について、前事業と後継事業の変更点について伺います。

答 市長

来年度からスタートする「地域の未来 人づくり事業」は、「自分たちの地域をより良くしたい」という地域の想いを市が市民と一体になって推進する、市民協働を体現した制度です。補助対象事業を大きく「みんなで楽しく活動部門」と「地域の課題解決部門」の2つに分け、後者については、特に公共性が高く、中・長期的な取り組みであることから、新たに補助率を100%としました。対象となる団体には、各地区のコミュニティ推進協議会や自治会協議会だけでなく、各自治会からの申請も可能としました。さらに、まちづくり団体や民間企業なども対象に加え、自主的な活動を支援できるようにしました。

本事業では、地域の皆さんが交流し、「顔の見える関係」を構築するために必要な、飲み物やお茶菓子代の一部も補助対象に追加するなど、これまで以上に、みんなで、楽しく、気軽に、活動できるような仕組みづくりにも力を入れています。

「地域の未来 人づくり事業」を通して、多くの市民の皆さん、団体の皆さんに、地域の人たちとの交流を深めていただき、地域への愛着を持っていただくことで、協働・共創のまちづくりをより一層推進していきます。

◆その他の質問事項 ○「ゴルフのまち　鹿沼」の推進　○まちの駅　新・鹿沼宿　○選挙投票体制

 ◉本会議、市政一般質問はどなたでも、議場での傍聴ができます。是非傍聴にお越しください。

市民スポーツ施設の利用環境の改善について

橋本 勝浩 議員



(YouTube)

答弁 ヤオハンいちごパークの女性用更衣室を今年度中に整備します。

問 市内スポーツ施設について、更衣室・控室や休憩場所などの利用環境に課題があります。既存施設の改修や簡易的な整備を含め、利用環境を改善する考えについて伺います。

答 市長
まず、ヤオハンいちごパーク野球場の女性利用者の利便性向上のため、女性用更衣室を今年度中に整備します。他のスポーツ施設についても、簡易的な修繕は速やかに実施するとともに、大規模な改修や整備が必要となるものについては、鹿沼市公園施設長寿命化計画に基づき対応していきます。

問 今回の女性用更衣室整備を一つの契機として、女性や子ども、高齢者、障がいのある方など、誰もが利用しやすい施設となるよう、市内スポーツ施設全体を点検・改善していく考えについて伺います。

答 市長
スポーツ施設の多くが、バリアフリーなどの考えが一般化する以前に整備されたものです。そのため、まずは国のガイドラインなどに即しているかどうかの点検、確認が必要だと認識しています。その上で、鹿沼市公園施設長寿命化計画とも併せて、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブといった視点での点検結果を受け、早期に改修が必要な施設を選択していく対応になると考えます。

◆その他の質問事項 ○地区防災の推進　○地域福祉を支える体制

鹿沼市奨学金貸付制度について

鹿妻 武洋 議員



(YouTube)

答弁 情報が確実にたどり着くよう、周知を進めていきたいと考えています。

問 市奨学金の認定状況について、市民の需要への対応として、どう評価しているか伺う。

答 教育次長
本市における奨学金の新規申込件数は、令和5年度が54件、令和6年度が46件、令和7年度が37件、認定件数は、令和5年度が53件、令和6年度が43件、令和7年度が36件です。本市の奨学金貸付制度は、教育の機会均等の趣旨に基づき、修学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学できない学生に対し、無利子で学資を貸し付けるものです。奨学金の貸与認定者全員に貸付ができている状況であり、必要な学生への支援が行き届いていると考えています。

問 制度を知らないなどによる潜在的な需要があると思うが、制度周知の現在の取組状況、また、今後の取組について伺う。

答 教育次長
市のホームページ、広報かぬま、市公式LINE、鹿沼ケーブルテレビといった広報媒体を積極的に活用し、制度の概要や申請期間などを定期的に発信しています。また、学校を通じた周知にも力を入れており、市内の全中学校には奨学金制度の募集要項や申請書類などを直接送付し、学校の協力を得て、生徒や保護者の皆様に情報を届けています。加えて、市内に住所のある生徒が通う県内の高校に対しても同様の資料を提供し、本制度の周知にご理解とご協力をいただいています。これからも様々な手法を組み合わせ、経済的な理由で修学に不安を感じる家庭や学生に、情報が確実にたどり着くよう、周知を進めていきたいと考えています。

小中学校の特殊詐欺等に関わらないための教育について

鈴木　毅 議員



(YouTube)

答弁 犯罪行為へ加担することや犯罪被害に遭うことの未然防止に努めています。

問 本市の小中学校において現在、特殊詐欺やSNSを利用した犯罪、闇バイト等について児童生徒に対しどのような教育、啓発を行っているのか伺う。

答 教育長
市教育委員会は、児童生徒をSNSに潜む危険から守るため、文部科学省や栃木県教育委員会が作成した情報モラル教育関連の教材等を精査し、校長会等を通じて積極的な活用を促すとともに、校長会や生徒指導担当者対象の研修会において、鹿沼警察署職員を講師として招き、SNSを介した犯罪行為加担への危険性や詐欺被害の内容についても研修を実施しています。
各小中学校においても、警察署職員等を講師とした情報モラル教室も実施し、SNSを悪用した闇バイトなどの犯罪の具体的な事例について取り扱い、児童生徒が犯罪行為へ加担することや犯罪被害に遭うことの未然防止に努めています。この他、文部科学省や警察庁、こども家庭庁が作成したリーフレットや動画、栃木県教育委員会が発出した通知を活用し、児童生徒が特殊詐欺等の犯罪に巻き込まれないように注意喚起を徹底しています。
闇バイトは、アルバイトではなく重大な犯罪であり、取り返しのつかない結果を招くことになるということを、今後も教育活動を通して児童生徒に伝え続けていきます。

◆その他の質問事項 ○未相続問題　○当市の行政財産　○市の窓口受付時間の短縮の対応

鹿沼市の庁舎開庁・窓口時間の変更について

大島 久幸 議員



(YouTube)

答弁 オンライン申請を順次拡充するなど、市民サービスの向上を図っていきます。

問 職員のワークライフバランスの改善を目的とした開庁・窓口時間の短縮変更を行うこととしていますが、質の高い市民サービスの維持・向上をどのように考えているか伺います。

答 **行政経営部長**

本年6月1日から、本庁及びコミュニティセンターにおいて、開庁・窓口受付時間を午前9時から午後4時30分までとした試行運用を開始しました。来庁者の約9割が午前9時から午後4時30分の時間帯に集中していることから、市民の皆様への影響は最小限にとどまるものと考えています。また、「毎週月曜日、午後7時までの延長窓口の開設」及び「月2回、日曜日午前中の休日窓口」は、朝早い時間帯や夕方遅い時間帯にしかお越しになれない市民の皆様への配慮として、引き続き実施していきます。更に、マイナンバーカードによるコンビニ交付や、各種手続きのオンライン申請を順次拡充するなど、市民サービスの向上を図っていきます。

これまで時間外に行わざるを得なかった窓口受付開始前の準備や、受付終了後の後片付け・事務整理を勤務時間内に行えるようになることから、恒常的な時間外勤務の削減が見込まれます。こうして生み出された時間を、窓口対応の質を高めるための研修や、より効率的な業務の進め方の検討に充てることで、市民サービスの質の向上につなげていきたいと考えています。

◆その他の質問事項 ○雇用年齢の年齢制限延長　○家庭ごみの分け方・出し方のルール

猟友会への支援強化について

梶原　隆 議員



(YouTube)

答弁 補助金の活用を促進すべく、積極的な周知を行いたいと考えています。

問 熊を含め有害鳥獣対策を担う猟友会の会員数や年齢構成について、市はどのように認識しているのか。また、人材確保についてどのような課題があると考えているのか伺います。

答 **環境部長**

令和7年度の会員数は、鹿沼支部146人、粟野支部83人の合計229人、過去3年度間の推移は、おおむね横ばいです。年齢構成は、65歳以上が鹿沼支部で96人、65.8％、粟野支部で57人、68.7％を占め、今後、高齢化により捕獲活動を担う人材の不足や、狩猟技術継承が困難になるなどの問題が表面化するおそれがあると認識しています。人材確保については、平日も現地対応や罠の設置、見回り等を行うこととなるため、仕事や家庭との両立が難しいことに加え、狩猟には免許取得や捕獲技術の習得が必要であるなど、猟友会の会員となっても、有害鳥獣対策の担い手として活動できるまでに長期間を要することも課題として認識しています。

問 猟友会の高齢化が進む中、若い捕獲従事者を育成することが重要です。狩猟免許取得費用や講習会受講料、銃所持に係る費用などへの補助制度を創設・拡充する考えはあるのか伺います。

答 **環境部長**

今年度から「鹿沼市狩猟免許取得等補助金」を創設しましたが、現時点で市民からの申請がない状況です。そのため、この補助金の活用を促進すべく、市ホームページ、広報紙、猟友会を通じた広報など様々な方法で積極的な周知を行いたいと考えています。

◆その他の質問事項 ○災害関連死を防ぐための避難所生活の環境改善　○個別避難計画の実効性向上　○地震火災を防ぐ感震ブレーカーの普及促進

平和行政の発展、充実について

阿部 秀実 議員



(YouTube)

答弁 宣言の理念をより多くの皆様に伝えていけるよう努めていきます。

問 鹿沼市民は、非核三原則を堅持し、日本国憲法の精神である世界の恒久平和を決意して「平和都市」を宣言しました。平和への啓発のために宣言を示す看板を歩道橋に掲げたり、標柱などの設置をしてはどうか。

答 **市長**

本市は、戦後50年となる平成7年8月15日に、非核三原則の堅持と世界の恒久平和を掲げ、平和都市を宣言し、翌年、平和都市宣言記念モニュメントを市庁舎敷地内に設置しました。このモニュメントは、台座が「安定」、宣言文が「積極的な理想」、台座の上の2つの自然石が「人の正常」を表しており、この3つの要素は、欠かすことのできない重要な平和の概念を表現しています。宣言を示す看板や標柱等は、現在のところ新たに設置することは考えていませんが、宣言の理念をより多くの皆様に伝えていけるよう努めていきます。本市では、宣言に基づく平和行政として、平成9年から市内中学生を広島平和記念式典に派遣しており、これまでに延べ464人の生徒を派遣してきました。本市としては今後もこの派遣事業を継続していくとともに、何より戦争の悲惨さや平和の尊さを体感した生徒たち自身によって、その経験や思いを、家族や友人をはじめ周囲の人々に伝えていくことが、宣言が掲げる理念の実現に寄与するものと考えています。

問 終戦記念日の前後の期間などに、懸垂幕などで平和都市宣言の表記を示してはどうか。

答 **市長**

県内自治体の平和都市宣言等の具体的な掲出方法等について調査を行い、今後検討していきたいと考えています。

◆その他の質問事項 ○議案第93号 工事請負契約の締結　○街路樹、道路沿道樹木の管理　○本と市民の関わりに対する行政の対応

◉本会議、市政一般質問はどなたでも、議場での傍聴ができます。是非傍聴にお越しください。

静謐（せいひつ）な生活環境の整備について

早川 勝弘 議員



(YouTube)

答弁 事業者に対し指導等を行っていける体制を整えていきたいと考えています。

問 国のエネルギー政策でもある系統用蓄電池設備が増設されているが、住民の暮らしに大きな影響を及ぼす側面も危惧されている。設置する上での法的な制限や基準について伺う。

答 **総合政策部長**

系統用蓄電池とは、電力系統に直接接続される大型の蓄電池です。消費量が少ない安価な時間帯に電気を購入、蓄電しておき、消費量が多く、価格が高い時間帯に売電することで、その差額を利益とするもので、設置が全国的に進んでいます。建築基準法、都市計画法等に基づく基準等がありますが、規制等の対象外である場合が多く、その他、消防法や農地法、森林法に基づく基準等も、現状、小規模な蓄電池施設の設置を規制する法的根拠はありません。

問 住宅街へ設置される場合、火災や騒音など日常の暮らしに危険や不安を与えてしまう可能性も否定できない。生活環境の著しい変化や不安要素に対する本市の認識及び今後の対応について伺う。

答 **総合政策部長**

小規模な設置に関して、法的な規制を行うことは難しいのが現状です。県外では、ガイドラインなどを策定している自治体もあります。今後、本市でも、市民から相談があった場合、このようなガイドラインを参考に、事業者に対し指導等を行っていける体制を整えていきたいと考えています。

◆その他の質問事項 ○安全な水の確保に向けた生活インフラ　○公務員の熱中症予防や健康管理(安全配慮義務)

学校給食における地産地消の推進と次期食育推進計画について

仲田 知史 議員



(YouTube)

答弁 計画上の目標指標を約10％近く上回る成果となりました。

問 第４次かぬま元気もりもりプランでは、学校給食における地場産物活用割合を金額ベースで令和３年度66．４％から令和８年度70％とする目標を掲げていますが、達成状況や検証、次期計画への反映について伺います。

答 **教育次長**

第４次かぬま元気もりもりプランは、令和４年度から令和８年度までの食育推進計画で、食育の推進と地産地消の２つを柱とし、成果指標の中に地場産物活用割合を掲げています。地場産物の学校給食における金額ベースでの活用割合は、令和３年度の基準値66．４％に対し、令和７年度は79．５％と、計画上の目標指標70％を約10％近く上回る結果となりました。なお、令和８年度は現在調査中となっています。

学校給食での地産地消の取り組みでは、児童生徒が地域の食材や地域に関心を持つことができるよう、地元で採れた米や野菜などを多く活用した献立を提供しており、「鹿沼市や栃木県の食材に関すること」や「生産者への感謝の心」などを伝えています。これらの取り組みにより令和７年度の調査では、鹿沼市や栃木県で作っている食べ物を知っている児童生徒の割合は小学生で約85％、中学生で約90％という結果が出ています。一方、課題としては、鹿沼市産の学校給食用の食材の量の確保や配送の困難さなどが挙げられます。この解決には、地元生産者の皆様との関係構築が重要になると認識しています。今後はこれらの課題を分析するとともに、生産者や関連する事業者、庁内関係部署と連携協議し、次期計画に反映させていきます。

◆その他の質問事項 ○系統用蓄電池施設の適正な設置　○障害者優先調達推進法に基づく取組

北中校舎の各設備、建物全般の補修について及び新たな設備の追加について

舩生 雅秀 議員



(YouTube)

答弁 今後も引き続き施設の状況把握と適切な維持管理に努めていきます。

問 北中校舎の老朽化した設備の整備について伺う。また、バリアフリー対応エレベーター設置について伺う。

答 **教育次長**

北中学校の校舎は昭和49年に建築され、今年で築52年を迎えています。文部科学省が長寿命化改修工事実施の目安としている築40年が経過し、現在、内装の仕上げや実験台、調理台、ロッカー、下駄箱など、様々な備品に劣化がみられています。これまでに、北中学校の校舎では、必要に応じて建物全般の補修工事等を実施してきました。具体的には、平成23年度に耐震補強工事、平成28年度にトイレや給水設備の改修工事、平成30年度に外壁改修と廊下部分の内装改修工事、令和４年度に照明器具のＬＥＤ化等を行いました。また、軽微な修繕等については、教育委員会内の学校作業班が現場を確認し、直接修繕を行っています。作業班で対応できないものについては、専門業者に修繕を発注し、不具合箇所はその都度適切に対応してきました。今後も引き続き施設の状況把握と適切な維持管理に努めていきます。

現在、北中学校には荷物用のエレベーターが２基設置されています。バリアフリー対策としてのエレベーターの設置については、今後、校舎の長寿命化改修等の大規模な施設整備に併せ検討し、教育環境の質の向上を図っていきます。

◆その他の質問事項 ○学校用務員の必要性　○心の強い人間を育てる教育　○鹿沼市中山間地域等の活性化と広域道路ネットワークの構築

野生鳥獣肉(ジビエ)の出荷制限一部解除と利活用推進について

石川 さやか 議員



(YouTube)

答弁 施設単位での一部解除は実現の可能性があると考えています。

問 福島県のジビエ肉(シカ)の出荷制限も一部解除され、全国でシカが流通できていないのは栃木県のみとなっています。本市における出荷制限一部解除の見通し、安全管理体制の構築、及び処理施設整備支援について伺います。

答 市長 出荷制限は、申請により一部解除が認められています。県外では今年6月に群馬県がシカ肉の食肉処理施設で一部解除の指示を受けており、施設単位での一部解除は実現の可能性があると考えています。事業者及び行政の負担を軽減するとともに、持続可能で安定的な安全管理体制について、県も含め3者で協議し、検討していきたいと考えています。農業被害の軽減、捕獲個体の適正処理、地域経済の活性化等の多面的な効果が期待されることから、本市としてできることを見極めつつ、経済施策と環境施策の両面から必要な支援を検討していきたいと考えています。

問 本市において、年間千500頭以上が捕獲されているシカですが、環境クリーンセンターで焼却されているシカは、例年何頭くらいですか。

答 環境部長 過去3年間では、令和5年度が485頭、令和6年度が523頭、令和7年度が394頭です。

問 一部解除となり、全頭検査が実施される場合の創意工夫について、具体的にはどのような検討をされていますか。

答 環境部長 他県等の事例では、全頭検査のオンラインの活用や、捕獲時の立ち会いを廃止し、持ち込み時のみに一本化している事例等があり、参考にしたいと考えています。

◆その他の質問事項 ○クリーンセンターへのごみの持込み　○廃食用油を航空機燃料(SAF)に再資源化するプロジェクト

市長の政治姿勢について

駒場 久和 議員



(YouTube)

答弁 今後も、「Made in 鹿沼」を軸としたトップセールスに取り組みます。

問 精力的にトップセールスを行っていると思われますが、その目的、成果をお示しください。また今後、その成果をどのように施策に反映させていくのか伺います。

答 市長 私自らが現地に出向いて行う交渉やトップセールスは、施策の新たな展開や加速化、課題解決の糸口へとつながる可能性が十分に見込まれるうえ、本市の本気度を示すという意味でも重要な取り組みであると認識しています。市外の活動ばかりでなく、市内企業に対しても、令和7年度において15社を訪問し、各企業の現状や景況感、課題等、生の声を直接聞くとともに、企業版ふるさと納税へのご協力についても呼び掛けてきました。これらのトップセールスの成果としては、企業版ふるさと納税として、令和7年度からこれまでに、物品も含めて5件の寄附をいただいています。こうしたトップセールスにより得られた成果というのは、「目に見えるもの」に留まらず、本市が民間企業や国、他自治体と「信頼関係」を築くことも貴重な成果の一つだと捉えています。

今後も、「Made in 鹿沼」を軸としたトップセールスに取り組み、その中で得られた情報や感触などを分析し、新たにスタートした第9次総合計画における施策の実現に向けて活用していきたいと考えています。

◆その他の質問事項 ○市職員の働きやすい職場づくり

教育長の教育理念とこれまでの取り組みについて

佐藤　誠 議員



(YouTube)

答弁 鹿沼の子どもたちが、幸せな人生を築いていくことを、これからも願っています。

問 中村仁教育長のご勇退に際し、同氏が教育長としてどのような理念や哲学に基づき教育行政に取り組んできたのかを学校教育を主題に伺う。

答 教育長 鹿沼市教育目標及び鹿沼市教育ビジョンの理念のもと、決められた正解のない問いに対して、「自分の頭で考えて判断し行動すること」と「自分とは考えが違う人たちとも対話や協働を通じて合意を図ること」を大切にし、「深い自己肯定感」や「人とつながる力」などの豊かな人間性を育んで、幸せな人生を築いていくために必要な力を、鹿沼の子どもたちに身に付けていきたいと考えてきました。

そのため、学校現場へは「5つの共通取組」として、子どもたちに「あなたはどうしたいですか」と問い直し自分で考えるようにすること、活動の目的を共有すること、迷ったときは目的に戻ること、必要な情報は自ら収集すること、つまずきから学ぶ機会を奪わないことを伝えてきました。現在、すべての学校で育成を目指す資質・能力を位置付け、目的意識をもって教育活動を行っています。

大人は、子どもたちが未来を生きるための力を身に付けることを大切にし、かけがえのない存在として愛情を注いでいくことが重要です。

鹿沼の子どもたちが、自分の頭で考えて行動し、自分とは考えが違う人たちとも対話や協働を通じて合意を図り、自己肯定感や人とつながる力などの豊かな人間性を育み、幸せな人生を築いていくことを、これからも願っています。

◆その他の質問事項 ○「住みよさランキング2026」　○中学生の自転車通学ヘルメット

◉本会議、市政一般質問はどなたでも、議場での傍聴ができます。是非傍聴にお越しください。

人口減少となる社会に向けた政策について

藤田 義昭 議員

(YouTube)



問 現在の出生数により将来は確実に人口減少となります。将来の市の状況や課題をどう予測していますか。また「何ができなくなるか、何をやめるか」といった再検証、しくみの見直しなど、長期的な視点での対応策について伺います。

答 **市長**

本市の人口は、平成12年の10万4千764人をピークに減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、このまま有効な対策をとらなければ、令和42年には5万4千人程度まで減少するものと見込まれています。一般的に、こうした人口減少が、地域経済の縮小や社会保障費の増大、さらには地域コミュニティの希薄化など、あらゆる分野において影響を及ぼすものとされています。将来にわたり持続可能なまちづくりを実現するには、こうした状況を課題として捉え、対策を講じていくことが重要であると考えています。

第9次総合計画では、「鹿沼の魅力と実力」を誇りとしながら、市民の皆さんが健やかで、心豊かに、助け合いながら暮らしていく社会の実現を目指しています。また「鹿沼産・鹿沼発」の魅力を全国に発信し、その魅力に惹かれて鹿沼が大好きな人々が集うまちを目指し、「みらい」の鹿沼のイメージを「豊かな自然と文化につつまれ　人が輝き　地域が輝く　みんなが住みたいまち」として掲げました。その実現に向けて、住み慣れた地域で将来にわたって安心して住み続けられる鹿沼を絶対に維持していくという強い決意をもって、第9次総合計画を着実に推進していきます。

答弁 **強い決意をもって、第9次総合計画を着実に推進していきます。**

◆その他の質問事項 ○地元の実業高校との関わり　○今後の学校教育

議場の生け花

議場では一般質問の3日間、各団体様のご協力により生け花を飾っています。
今回の生け花は、華道連盟　清水真紀様の作品です。

テーマ：伝統文化を彩る　～鹿沼市の秋～
花　材：トクサ、アナスタシア、リンドウ、ケイトウ、アスター、ダリア、クロトン、ファウンテングラス、鹿沼組子、鹿沼ミニチュア屋台
コメント：9月9日は重陽の節句です。菊の節句とも呼ばれております。秋を感じる菊をふんだんに使いました。組み合わせたトクサの面を活かし、鹿沼市の伝統文化である組子細工を花の中にあしらいました。もうすぐ鹿沼秋まつりが始まりますので、ミニチュア屋台も添えました。どうでしょう？お囃子の音色が聞こえてきませんか？私は、華道家元池坊を学んでいます。何百年も続いている華道という伝統文化を皆様へお伝えできる場を頂き、うれしく思います。



令和8年第3回定例会

認定9件、市長提出議案26件が提出されました。また、請願1件、陳情1件を審査しました。

「全会一致（出席議員全員が賛成）」以外の議案等における、各議員の賛否は以下のとおりです。議員数23名、議長は表決には加わりません。
賛成：○、反対：●、不参加：不、除斥：除、欠席：欠

令和8年第3回定例会 議員の賛否を公表

番号	件名	採決結果	1 鹿妻 武洋	2 仲田 知史	3 橋本 勝浩	4 早川 勝弘	5 駒場 久和	6 舩生 雅秀	7 橋本 修	8 藤田 義昭	9 梶原 隆	10 宇賀神 敏	11 大貫 桂一	12 石川 さやか	13 鈴木 毅	14 阿部 秀実	15 佐藤 誠	16 舘野 裕昭	18 谷中 恵子	19 津久井 健吉	20 小島 実	21 増渕 靖弘	22 横尾 武男	23 関口 正一	24 大島 久幸
認定2号	令和7年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
請願1号	リーバス新ルート設置を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不	○		○	○	○	○	○	○
陳情2号	mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不	●		●	●	●	●	●	●

※その他の認定8件は全会一致で認定、議案26件は全会一致で可決されました。

認定一覧

令和７年度決算

認定1 令和7年度鹿沼市一般会計歳入歳出決算の認定について

令和7年度一般会計予算は、当初以来13次にわたる補正を行った結果、予算総額は477億6,030万5,346円となり、これに対して決算額は、歳入において468億5,643万9,879円、歳出において455億8,786万2,064円、歳入歳出差引額12億6,857万7,815円であり、実質収支において10億6,643万163円の黒字決算となったものです。

なお、歳入歳出差引額と実質収支の差額は、繰越明許費による翌年度へ繰り越すべき財源2億214万7,652円です。

認定2 令和7年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定3 令和7年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計歳入歳出決算の認定について

認定4 令和7年度鹿沼市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定5 令和7年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

認定6 令和7年度鹿沼市粕尾財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

認定7 令和7年度鹿沼市清洲財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

認定2～7の各特別会計については、実質収支において黒字決算となりました。



認定8 令和7年度鹿沼市水道事業会計決算の認定について

収益的収支においては、当年度の純利益は4千178万3,344円でした。

認定9 令和7年度鹿沼市下水道事業会計決算の認定について

収益的収支においては、当年度の純利益は5千280万8,009円でした。

議案等一覧

その他

議案84 令和7年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金2億2,472万4,073円のうち、4千178万3,344円を建設改良積立金に積み立てるとともに、1億8,294万729円を資本金に組み入れるためのものです。

議案85 令和7年度鹿沼市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金2億6,995万6,992円のうち、5千280万8,009円を建設改良積立金に積み立てるとともに、2億1,714万8,983円を資本金に組み入れるためのものです。

令和８年度補正予算

議案86 令和8年度鹿沼市一般会計補正予算(第4号)について

歳入については、国県支出金、繰越金等の増減額を計上し、歳出については、道路長寿命化対策事業費、体育施設整備事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を5億8,909万9,000円の増とし、予算総額を471億4,323万円とするものです。

令和８年度補正予算

議案87 令和8年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入については、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については、国民健康保険事務費及び予備費の増額を計上したもので、この補正額を1億34万2,000 円の増とし、予算総額を95億5,734万2,000円とするものです。

議案88 令和8年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算(第1号)について

歳入予算の更正として、繰越金の増額を計上し、繰入金の減額を計上するものです。

議案89 令和8年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算(第1号) について

歳入については、国庫支出金、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については、介護給付費準備基金積立金、償還金等の増額を計上したもので、この補正額を5千271万1,000円の増とし、予算総額を87億7,371万1,000円とするものです。

 ◉本会議、市政一般質問はどなたでも、議場での傍聴ができます。是非傍聴にお越しください。

令和８年度補正予算

議案90 令和８年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第１号)について

歳入については、繰越金の増額を計上し、歳出については、予備費の増額を計上したもので、この補正額を1千675万4,000円の増とし、予算総額を15億6,475万4,000円とするものです。

議案91 令和８年度鹿沼市粕尾財産区特別会計補正予算(第１号) について

歳入予算の更正として、繰越金の増額を計上し、繰入金の減額を計上するものです。

議案92 令和８年度鹿沼市清洲財産区特別会計補正予算(第１号) について

歳入予算の更正として、繰越金の増額を計上し、繰入金の減額を計上するものです。

契　約

議案93 工事請負契約の締結について

令和8年度自然の森総合公園サッカー場改修工事の事後審査型条件付き一般競争入札を令和8年7月23日に行い、その結果、日本体育施設株式会社関東支店が3億4,322万2,000円で落札したので、本契約を締結するためのものです。

議案94 工事請負契約の締結について

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)の事後審査型条件付き一般競争入札を令和8年7月23日に行い、その結果、山和技建株式会社が1億8,535万円で落札したので、本契約を締結するためのものです。

市　道

議案95 市道路線の認定について

上野町地内における開発行為により、新たに築造された道路を市道として認定するためのものです。

条　例

議案96 鹿沼市印鑑条例の一部改正について

出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴い、マイナンバーカードと在留カード等が一体化された特定在留カード等に、印鑑登録証明書の交付に必要な情報の記録を可能とするためのものです。

議案97 鹿沼市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

地方自治法施行規則の一部改正に伴い、引用する条項を整理するためのものです。

条　例

議案98 鹿沼市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部改正について

予防接種法による予防接種以外の予防接種に関する情報について、マイナンバーを利用した情報連携を行うためのものです。

議案99 鹿沼市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

人事院規則の一部改正に準じ、被害者参加制度に基づく裁判出頭を特別休暇とするためのものです。

議案100 鹿沼市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び鹿沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

鳥獣被害対策実施隊員の各業務に対する報酬の引上げ及び危険鳥獣対策に従事する職員に対する特殊勤務手当の新設を行うためのものです。

議案101 鹿沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

人事院規則の一部改正に準じ、災害応急作業手当の額を引き上げるためのものです。

議案102 鹿沼市立学校の設置に関する条例の一部改正について

令和9年3月31日をもって加園小学校及び加蘇中学校を閉校するためのものです。

議案103 次期クリーンセンター整備検討審議会条例の制定について

鹿沼市環境クリーンセンターの整備について、市長の諮問に応じ、必要な調査又は審議を行うため、次期クリーンセンター整備検討審議会を設置するためのものです。

議案104 鹿沼市景観条例の一部改正について

景観法の一部改正に伴い、引用する条項を整理するためのものです。

人　事

議案105 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について

鹿沼市固定資産評価審査委員会委員　※敬称略

室井　芳宏（むろい　よしひろ・万町）

▶用語解説　「固定資産評価審査委員会委員」

固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者の不服を公正、中立な立場で審査決定するため、地方税法に基づき設置された第三者機関です。委員は、鹿沼市の住民、市民税の納税義務者、または固定資産の評価について学識経験を有する者の中から、議会の同意を得て市長が選任します。

人　事

議案106▶議案107 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員（候補者）　※敬称略
　比良　真大（ひら　まさひろ・上野町）
　福田　玲子（ふくだ　れいこ・板荷）

▶用語解説　「人権擁護委員」

　人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広めたりする活動をしている民間の方々です。議会の意見を聞いて、市長が法務大臣に対し候補者を推薦します。任期は3年。

議案108 鹿沼市教育委員会教育長の任命について

鹿沼市教育委員会教育長　※敬称略
　鈴木　康夫（すずき　やすお・村井町）



人　事

議案109 鹿沼市教育委員会委員の任命について

鹿沼市教育委員会委員　※敬称略
　宮田　里枝（みやた　さとえ・鳥居跡町）

▶用語解説　「教育委員会委員」

　教育においては政治的中立性と安定性の確保が強く要求されるため、地方公共団体の長から独立した執行機関として教育委員会が設置され、教育についての方針や施策は教育委員会の合議で決定されます。委員は、人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから議会の同意を得て市長が任命します。

請　願

請願1 リーバス新ルート設置を求める請願

　交通不便の解消や交通費節約による家計負担軽減を目的に、御成橋町2丁目地内へのリーバス路線の設置を鹿沼市に求めるものです。

陳　情

陳情2 mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

　鹿沼市議会に意見書の提出を求めるものです。

議案等に対する討論

認定2 令和7年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対討論　阿部 秀実議員

　子育て支援や少子化対策の観点から、子どもの均等割を減免してゼロにすることを求めてきた。高くて払うのが大変という声が多い中、負担軽減に向け、まずは子育て世代の保険料を軽減すべきであり、子どもの均等割を賦課しないことを求め、その財源としても国保財政調整基金の活用を求めたが実現できなかった。市は基金が減少していくことなどを理由としたが、基金のわずか2%活用で対応でき、98%は基金に残る。あらゆる角度から子育ての応援が必要であり、こうした取り組みを進めるべきであると考え、反対する。

請願1 リーバス新ルート設置を求める請願

賛成討論　阿部 秀実議員

　提出された請願は、約100名の署名が添えられ、生活の足としての公共交通の必要性を求める切実な声だと思う。地域公共交通の拡充と発展は、市民と共に議会をあげて取り組まなければならないと考える。新たな交通機関として「AIデマンドバスの中心市街地運行」が公表されたが、市街地施設などと各地域を結びつける従来のリーバスや予約バスは、今後も重要な地域公共交通であり、拡充は重要な課題。「AIデマンドバス」との相乗効果により、市民の生活の足の拡充と確保は大切なことから、請願は採択すべきである。

常任委員会審査報告

新たな事業や予算などに関し、真剣な議論が行われています。このページでは、審査内容の一部をご紹介します。

常任委員会とは、議会に提出された議案や請願、陳情などを審査するため、議会に常設されている委員会のことで、4つの常任委員会（総務・教育福祉・産業建設・予算決算）が設置されています。

年4回の定例会では、市の予算や条例の制定などの議案について、各部局から説明を聞き、審査を行います。各定例会の最終日に、委員長による審査結果の報告が行われ、議案の採決が行われます。

総務常任委員会（定数8人）

◎委員長　小島実　○副委員長　仲田知史
・舩生雅秀、大貫桂一、阿部秀実、佐藤誠、津久井健吉、関口正一

請願1 リーバス新ルート設置を求める請願

概要 交通不便の解消や交通費節約による家計負担軽減を目的に、御成橋町2丁目地内へのリーバス路線の設置を鹿沼市に求めるものです。

委員長報告

この請願は、令和8年第2回定例会において「継続審査」と決したところです。その後、執行部から、地域公共交通計画の現状、市内各地域からの公共交通に関する市民からの要望や意見、本年11月から中心市街地において実証運行が予定されているAIオンデマンドバスを含む、本市の公共交通施策について説明を受けました。本定例会の総務常任委員会において、改めて委員から意見を聴取したところ、「今回、提出された請願については、地域住民からの声であり、議会として重く受け止める必要がある」との意見がありました。また、「本年11月から実証運行されるAIオンデマンドバスの検証を行うとともに、引き続き、リーバス、予約バス等の地域公共交通の拡充、地域特性や利用実態に応じた見直しを図るべき」との意見が出されました。一方で、「今回の請願の趣旨は、交通の不便を解消してほしいという内容であり、11月から実証運行されるAIオンデマンドバス『ポポカ』で、この問題が解消されるのか、継続審査にして検証を行った上で結論を出すべき」との意見もあり、継続審

教育福祉常任委員会（定数8人）

◎委員長　石川さやか　○副委員長　鹿妻武洋
・早川勝弘、駒場久和、橋本修、宇賀神敏、谷中恵子、大島久幸

陳情2 ｍＲＮＡワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

概要 ｍＲＮＡワクチン（レプリコンワクチンを含む）の国民への接種事業の中止を求める意見書を国へ提出することを、鹿沼市議会に求めるものです。

委員長報告

審査では、陳情人に対し、「ワクチンが原因で死亡に至ったという確信は持っているのか」についてなど、確認を行いました。その後、執行部に対して、「鹿沼市において、ｍＲＮＡワクチン接種による健康被害などの相談はあったのか」についてなど、詳細な説明を求めました。委員からは、「危険性のあるものに対しては、安全性が保証されるまでという考えもあるが、新型コロナウイルスが流行したときは危機的状況であった。それを少しでも助けたいという国の意向があり、それによって助けられた命のほうが多かったのではないかという判断ができるため、現時点でこの内容での陳情は反対である」といった意見が出されました。

その後、採択とするか不採択とするかについて挙手採決を行った結果、全会一致により「不採択」とすべきものと決しました。

その他の付託審査議案

議案102 鹿沼市立学校の設置に関する条例の一部改正について

産業建設常任委員会（定数8人）

◎委員長　横尾武男　○副委員長　橋本勝浩
・舩生雅秀、藤田義昭、梶原隆、鈴木毅、舘野裕昭、増渕靖弘

議案103 次期クリーンセンター整備検討審議会条例の制定について

概要 本市の環境クリーンセンターは、平成6年の竣工から31年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。そのため、今後の廃棄物処理を見据えた施設の再整備について検討を開始します。

廃棄物処理施設は、一般的に忌避施設として捉えられるため、整備においては民意の反映が極めて重要です。また、環境省の方針として、単なるごみ処理施設ではなく、熱や二酸化炭素の副産物を地域資源として活用する多面的な価値を有する施設として整備することが求められています。そこで、多様な関係者を委員とし、今後の施設の選択肢を検討する審議会を設置するものです。

その他の付託審査議案

議案95 市道路線の認定について

議案100 鹿沼市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び鹿沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

議案104 鹿沼市景観条例の一部改正について

査とするか否かで挙手採決を行った結果、挙手少数により「否」となりました。そのため、採決前に1名が退席し、採択とするか不採択とするかで挙手採決を行った結果、賛成多数により採択とすべきものと決しました。

その他の付託審査議案

議案93 工事請負契約の締結について

議案94 工事請負契約の締結について

議案96 鹿沼市印鑑条例の一部改正について

議案97 鹿沼市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

議案98 鹿沼市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部改正について

議案99 鹿沼市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

議案101 鹿沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について



総務常任委員会の様子



教育福祉常任委員会の様子



産業建設常任委員会の様子

予算決算常任委員会

◎委員長　増渕靖弘　○副委員長　早川勝弘　※委員は全議員で構成

議案86 令和8年度鹿沼市一般会計補正予算（第4号）について　※主なものを抜粋して掲載します。

・「非常備消防費」70万7千円の増額について

概要 消防団の魅力アップ及び団員確保のPR活動で使用するデジタルサイネージやグッズ等の購入費用を計上するものです。

・「体育施設維持補修費」2千420万円の増額について

概要 総合体育館冷却塔、熱源機械室給気排気ファン、鹿沼運動公園野球場時計など、老朽化により不具合が生じている施設の修繕に要する経費及び、自然の森総合公園の樹木伐採、御殿山公園野球場側溝清掃に要する経費を計上するものです。

・「首都圏農業確立対策事業費」1千670万6千円の増額について

概要 2027年国際園芸博覧会における出展ブースに設置する、ウッドインフィル及び鹿沼組子パネルの制作のほか、本市PR動画の作成、展示作品とするローマ法王庁大使館献上さつき同種品の培養のために必要な予算を計上するものです。

その他の付託審査議案

議案84 令和7年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案85 令和7年度鹿沼市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案87 令和8年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

議案88 令和8年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算（第1号）について

議案89 令和8年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

議案90 令和8年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

議案91 令和8年度鹿沼市粕尾財産区特別会計補正予算（第1号）について

議案92 令和8年度鹿沼市清洲財産区特別会計補正予算（第1号）について

※決算に関する内容は、次のページをご覧ください。

令和7年度　歳入歳出決算を審査

≪一般会計≫

当初予算		433億6,000万円
補正後の予算		463億4,225万円
決　算	歳　入	468億5,644万円
	歳　出	455億8,786万円

≪特別会計≫

当初予算		196億3,636万円
補正後の予算		198億2,134万円
決　算	歳　入	197億　590万円
	歳　出	193億3,463万円

決算審査では、当初予算をはじめ、補正予算等にかかる予算全体が適正に執行されたか等について、厳正な審査を実施しました。昨年度までは「決算特別委員会」を設置し審査していましたが、今年度からは予算決算常任委員会において、各部会ごとに詳細な審査を実施しました。ここではその内容の一部をお知らせします。

総務部会

交通対策費について(生活課)

問 鹿沼駅自転車駐車場運営事業費の支出の内訳や事業概要について

答 事業費の支出内訳は、駐車場管理業務委託料85万6,800円と電気料等の需用費11万811円、管理業務の主な内容は、朝の混雑時等に実施する利用者への適正利用の呼びかけや施設の管理です。

公共交通の整備について(生活課)

問 不採算路線等への運行経費補助の総額について

答 補助総額は２億6,050万円、内訳として、リーバス12路線に１億8,836万1,963円、予約バス４地域に6,430万8,271円、関東自動車株式会社の路線バス３路線のうち、不採算路線２路線に782万9,766円です。

教育福祉部会

在宅高齢者支援事業費について(高齢福祉課)

問 「高齢者補聴器購入費助成事業」の当初予算額と決算額について、また申込者はすべて受付できたのかについて

答 当初予算額は288万円、決算額は376万円であり、不足した88万円は予算を流用し、対応しました。申請は94件で、申請件数すべてを交付決定し年度内に助成しました。予算不足を理由に申請を断った人や待機となった人はいませんでした。

事務局費について(生涯学習課・教育総務課)

問 「安全安心な学校づくり事業費」の成果について

答 子どもたちが安全で安心して過ごせる環境を整えることを目的に、スクールガード・リーダー11名の委嘱や各小中学校への支援金の交付、門扉やフェンスなどの施設整備を実施しました。学校ごとの状況に応じた環境面、設備面での安全対策に加え、登下校時の人的な見守りを行うことにより、児童生徒の安全確保や事故・不審者等による被害の未然防止につながりました。

産業建設部会

雇用確保の支援について(産業振興課)

問 奨学金返還支援補助金の補助金交付者の新規就業者とそれ以外の割合について

答 本補助金の対象者は、市内に住所を有し、５年以上定住する意思のある30歳以下の方で、市内中小企業等に正規雇用されている方、または家族経営協定を結んだ農業者です。昨年度、補助金を交付した23人のうち、令和７年４月に新規就労した方は３人、それ以外の20人は、既に就労していた方です。

令和7年度千手山公園外樹木伐採業務委託について(観光交流課)

問 業務内容と伐採本数について

答 千手山公園及び旧粟野中学校のクビアカツヤカミキリによる被害木の伐採を行ったものです。千手山公園は、令和７年９月に実施した調査により、公園内約300本の桜のうち34本に被害を確認しました。被害木のうち、園内の通行の支障や、隣地への倒木の恐れなどを判断して７本を伐採したものです。また、旧粟野中学校については、校舎横の４本の桜を伐採しました。

常任委員会行政視察報告

鹿沼市議会では、各常任委員会が、所管に関する先進事例の調査などを行うため、行政視察を実施しています。7月には、総務・教育福祉・産業建設の3つの常任委員会が視察を行い、9月30日の本会議最終日に各委員長から議長へ報告を行いました。ここでは、各常任委員会の視察報告のうち、概要をお知らせいたします。なお、報告書の詳細は議会ホームページで確認できます。

視察報告書

総務常任委員会

○7月13日　熊本県玉名市　テーマ：「防災DX（3D都市モデルを活用した防災対策）」について

玉名市の防災DXは「住民の行動変容」を最終目的とし、3D/VRで災害を「自分ごと」として体験させ防災意識向上に効果を上げていました。スマート防災ポータルも平時からの利用・分析に加え、13自治体共同利用で継続的なDXモデルであります。多様な災害リスクを抱える本市は、玉名市の取り組みを地域特性に応用すべきであり、防災DXはシステム導入でなく、住民が「自分ごと」として適切な避難行動をとる地域づくりが本質だと認識しました。



○7月14日　熊本県荒尾市　テーマ：「AIオンデマンド交通とデータ活用」について

荒尾市での視察で参考となったのは、AIオンデマンド交通そのものではなく、「データを活用して公共交通を継続的に改善する仕組み」が確立されていた点であります。荒尾市は利用者データを分析し運行改善を図り、公共交通を観光や医療など他分野と連携させ、収支だけでなく多面的な価値を重視していました。本市もAIオンデマンド交通導入を控えているが、導入自体を目的とせず、利用データ分析による継続的改善、交通空白地域・高齢者支援、他分野連携を視野に入れた制度設計が重要だと認識しました。導入後もデータを継続分析し、PDCAサイクルで持続可能な公共交通を構築すべきだと感じました。



○7月15日　熊本県熊本市　テーマ：「熊本県防災センター」について（現地視察）

熊本県防災センターは、熊本地震の教訓から「平時からの備え」と実践的危機管理を重視した施設であります。関係機関の情報共有・迅速な意思決定を可能にするDX活用型オペレーション体制と、次世代への教訓継承を目的とした防災教育が特徴であります。これは行政だけでなく住民の防災意識向上も重要であることを示唆します。本市では大規模施設整備は困難ではあるが、災害情報の一元管理、DXを活用した情報共有、関係機関連携強化、住民向け防災教育の充実など導入可能な取り組みは多いと考えます。今回の知見を、本市の防災DX推進や地域防災力向上に繋げ、市民の安全・安心確保に反映すべきであると考えます。



教育福祉常任委員会

○7月7日　熊本県熊本市　テーマ：「不登校支援の取り組み」について
（教育支援センター「フレンドリー」、フレンドリーオンライン、ユア・フレンドの取り組みについて）

本市として注目すべきは、支援の入り口を多角化し、ハードルを徹底的に下げている点です。教育支援センター「フレンドリー」による通所型の居場所づくりに加え、「フレンドリーオンライン」を導入し、自宅からアバター参加や顔非表示で学べる環境を構築しています。さらに、オンライン学習教材「すらら」の活用や、市一律のガイドラインに基づく指導要録上の「出席扱い」の運用など、子どもたちが学びから孤立しない仕組みが整えられていました。本市においても、不登校児童生徒の増加や、支援未接続の対応、ICTを活用した学びの確保などは喫緊の課題です。熊本市のような広域・大規模自治体での先進事例を取り入れつつ、本市の地域特性や教育環境に合わせた形で、「子どもの心の居場所づくり」と「一人ひとりの社会的自立に向けた学びの確保」を両立させる政策提言につなげていきたいと感じました。



○7月8日　熊本県荒尾市　テーマ：「不登校支援の取り組み」について　（フリースクール事業について）

不登校の児童生徒が、学校や行政の支援とのつながりを断たれて孤立してしまうことを防ぐため、荒尾市では、学校内、学校外の両方に教育支援センターがあり、児童生徒の状況に合わせたきめ細やかな支援が行われています。本市の不登校児童生徒の課題に対して、本事業を有効に活用できるよう、検討する意義は大いにあると感じました。



○7月9日　福岡県福岡市（健康パークステーション「福浜公園」）　テーマ：「健康寿命の延伸」について

健康遊具は5種類と限られていますが、継続的参加者が多い理由としては、大学・学生との連携効果が大きいと思われます。学生にとっては、高齢者へストレッチや運動を教える実習機会が得られ、地域住民と顔を合わせ、継続的に関わること、参加する高齢者にとっては世代間のギャップを埋めるコミュニケーションが生まれている事が要因だと思われます。ハード面の整備にとどまらず、世代間交流を生み出し継続性を高める工夫は、本市の市民の健康づくり施策に積極的に展開すべき手法であると感じました。



産業建設常任委員会

○7月6日　三重県伊賀市　テーマ：「歴史文化を活かしたまちづくり」について

歴史文化を単なる保存対象ではなく、地域経済を支える資源として活用する姿勢が印象的でありました。特に、空き家再生や民間事業者との連携、外部専門人材の活用などは、本市の歴史的資源や空き家対策にも応用できる可能性があります。また、行政が全てを担うのではなく、民間の自主性を尊重する推進体制は、持続可能な観光振興を進める上で重要な視点であると感じました。



○7月7日　三重県いなべ市　テーマ：「自然資源を活かした観光戦略」について

行政が施設を運営するのではなく、民間の経営力を活かす仕組みづくりが非常に参考となりました。特に、行政は基盤整備と方向性の提示に徹し、民間が主体的に魅力を創出する考え方は、本市が進める南摩ダム湖周辺整備や駅前整備にも応用できます。交流人口の拡大だけでなく、関係人口や移住定住まで見据えた戦略的な視点が重要であると感じました。



○7月8日　三重県菰野町　テーマ：「民間主導によるリゾート開発」について

地域資源の魅力を客観的に分析し、それを民間投資や観光施策へ結び付ける手法が印象的でありました。特に、DMOによる専門的な事業推進やデジタルツールの活用は、本市においても観光振興や地域ブランディングの強化につながる可能性があります。行政・民間・地域団体が役割を明確にし、一体となって地域の魅力を発信していく体制づくりが重要であると感じました。



2026
令和8年
11月25日号
No.242

編集・発行　広報広聴特別委員会
鹿沼市議会

〒322-8601　鹿沼市今宮町1688-1
☎0289-63-2203　FAX0289-63-2250

各種団体の皆さんとの議会報告会・意見交換会を開催します

市議会では、開かれた議会活動のひとつとして、各種団体の皆さんとの議会報告会・意見交換会を以下の日程で開催します。ご希望される団体は、12月11日（金）午後5時までに議会事務局（電話63-2203）までお申し込みください。

【応募要件】日頃から鹿沼市内で活動している団体
※各回先着1団体（10名～30名程度）とします。

開催日	時　間	会　場
1月18日（月）	19時～20時30分	鹿沼市民情報センター 2階 子育て情報室
1月19日（火）	19時～20時30分	
1月21日（木）	13時30分～15時	

定例会の日程

令和8年第4回定例会（予定）

月	日	曜	内容
11	17	火	議会運営委員会
	24	火	本会議（第1日） 提出議案の説明
12	2	水	議会運営委員会 本会議（第2日） 議案質疑・一般質問
	3	木	本会議（第3日） 議案質疑・一般質問
	4	金	本会議（第4日） 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託 予算決算常任委員会
	9	水	総務常任委員会／ 予算決算部会
	10	木	教育福祉常任委員会／ 予算決算部会
	11	金	産業建設常任委員会／ 予算決算部会
	16	水	予算決算常任委員会
	18	金	議会運営委員会 本会議（第5日） 採決

令和9年第1回定例会（予定）

月	日	曜	内容
2	12	金	予算決算常任委員会
	15	月	議会運営委員会
	19	金	本会議（第1日） 提出議案の説明
3	1	月	議会運営委員会 本会議（第2日） 議案質疑・一般質問
	2	火	本会議（第3日） 議案質疑・一般質問
	3	水	本会議（第4日） 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託 予算決算常任委員会
	8	月	総務常任委員会／ 予算決算部会
	9	火	教育福祉常任委員会／ 予算決算部会
	10	水	産業建設常任委員会／ 予算決算部会
	15	月	予算決算常任委員会
	18	木	議会運営委員会 本会議（第5日） 採決

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。（電話 63−2203）

議会の詳しい情報は、鹿沼市議会のホームページをご覧ください。 鹿沼市議会 検索
議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。 gikai-jimu@city.kanuma.lg.jp

表紙について

今号は、鹿沼東高等学校3年生の
小川千尋さんの作品です。



学校から帰ろうとした時、ふと目に映った光に強く心を惹かれ、気付いたらシャッターを切っていました。心が暗く迷った時も、照らしてくれる一筋の光は必ずあると思わせてくれる一枚です。

「あなたと議会」では、表紙に高校生による写真や絵画、イラストを掲載しています。次号は鹿沼南高等学校の生徒さんの作品を掲載予定です。ご期待ください。

題字の揮ごう

今号は、鹿沼南高等学校3年生の宇賀神　杏さんに揮ごうして頂きました。

あなたと議会

鹿沼南高等学校3年
宇賀神　杏さん



今回、「あなたと議会」に選ばれてとてもうれしく思いました。
文字の大きさを意識し、バランス良く綺麗に書くことができました。
納得のいく作品が書けて良かったです。
今回は、題字を書かせていただき、ありがとうございました。

議会だよりは、デイジー版（音訳CD）及び点訳版も作成しています。送付をご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。（電話63-2203）

UD FONT by MORISAWA